

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the center. The top-left quadrant is blue, the top-right is red, the bottom-left is yellow, and the bottom-right is white.

2020年3月期 決算説明資料

株式会社 京写

証券コード：6837

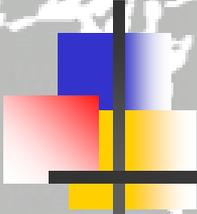
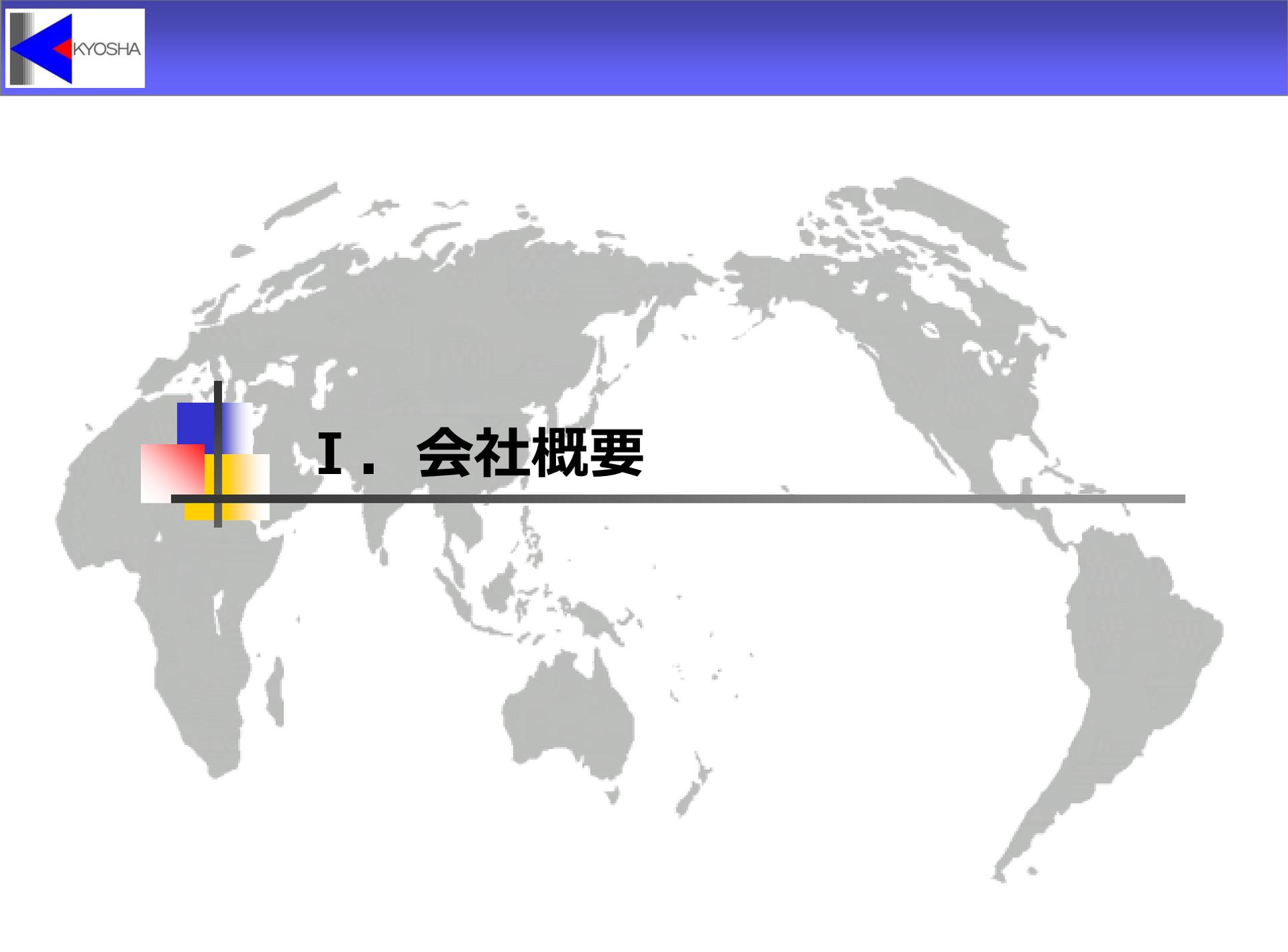
2020年 5月 20日

I. 会社概要

II. 2020年3月期 決算概要

III. 2021年3月期 業績予想の公表延期



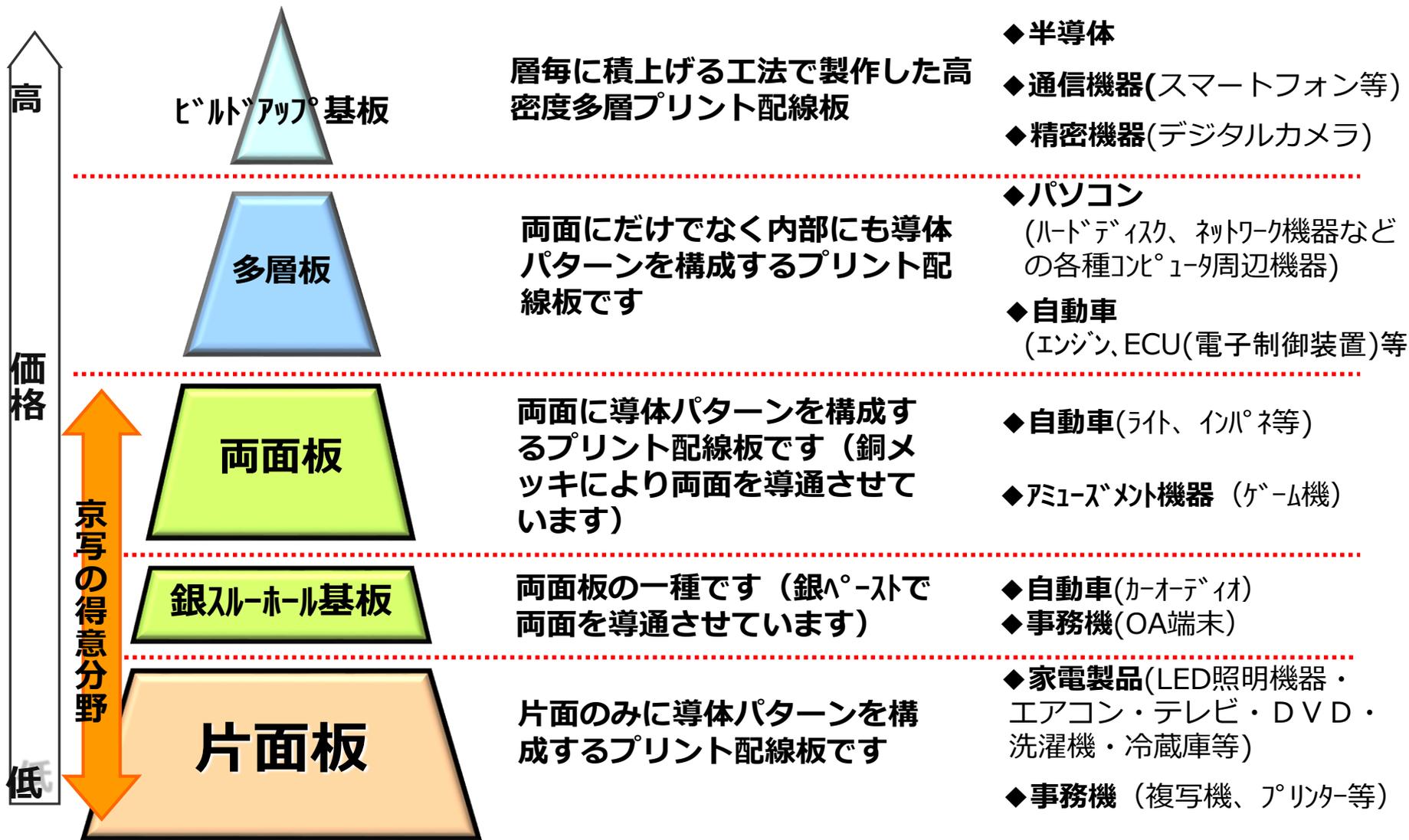


I. 会社概要

- **社名** 株式会社 京 写
- **代表者** 代表取締役社長 児 嶋 一 登
- **所在地** 京都府久世郡久御山町森村東300番地
- **設立** 1959年（昭和34年）2月
- **上場** 東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード：6837）
- **資本金** 1,102百万円（発行済株式数 14,624千株）
- **事業内容** プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
- **主要製品** 片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板
電子部品実装、実装搬送治具
- **従業員数** 連結 1,273名
- **主取引先** 自動車関連、家電製品、事務機、映像関連、電子部品・電子機器
その他（アミューズメント、音響機器等）
- **決算日** 3月31日
- **関係会社** 連結子会社数 11社（2020年3月31日現在）

プリント配線板の種類と主な用途

プリント配線板の種類	説明	主な用途
------------	----	------



プリント配線板が使用されている主な製品



■電気を使用する製品にはすべてプリント配線板が使用されています。



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。

1. グローバル生産拠点から世界中へ製品を供給

日本、中国、インドネシアで生産、世界中へ販売…

2. 片面板で世界最大の生産能力

片面板45万m²/月

3. 幅広い製品用途と顧客層

自動車、家電、事務機、映像、アミューズメント、産業機器等

口座数 約1,300（国内1,000口座、海外300口座）

4. プリント配線板関連技術の開発

環境対応製品・実装搬送治具の開発と展開

京写グループマップ

中国グループ

名称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写香港	販売	100.0%	12月
京写広州	生産/販売	95.0%	12月
京写広州貿易	販売(元建)	100.0%	12月



京写広州



京写インドネシア

国内グループ

連結子会社数 11社 (2020年3月31日現在)

名称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写	生産/販売	—	3月
三和電子	部品実装	100.0%	1月



京都本社



九州工場



新潟工場

関東テック (埼玉)



関東テック (横浜)



三和電子

北米

名称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写ノースアメリカ	販売	100.0%	12月
京写オーストラリア	生産/販売	99.9%	12月

東南アジア

名称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写インドネシア	生産/販売	95.5%	3月
京写タイランド	販売	99.9%	12月
京写マレーシア	販売	100.0%	12月
京写ベトナム	生産/販売 予定	100.0%	12月

東アジア

名称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写韓国	販売	100.0%	12月

トピックス（両面板製造拠点の海外展開）



■ ベトナム工場（Kyosha Vietnam Co., Ltd）の進捗

2019年6月28日、ハノイ郊外のハナム省ドンバンⅢ工業団地において京写ベトナムの起工式を実施



- ・ 設立年月：2019年1月25日
- ・ 敷地面積：約35,000㎡
- ・ 工場面積：約10,000㎡(第一期)
- ・ 工場完成：2020年3月
- ・ 生産品目：両面銅スルーホール基板、
アルミ基板、4層板
- ・ 工場稼働：準備中
- ・ 生産能力：40,000㎡/月(第一期)※両面板換算



工場外観

トピックス（治具製造拠点の海外展開）



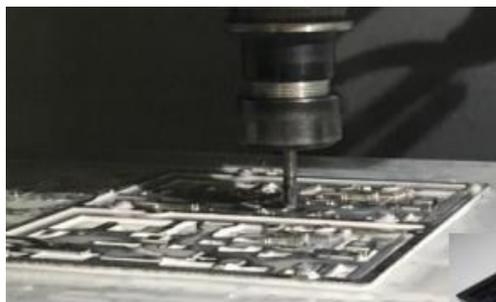
■メキシコに工場設立、新たな事業「実装搬送治具の製造販売」を開始

目的：日系自動車メーカーが多数進出しているメキシコ(ケレタロ州)で製造販売開始。
現地生産により、スピーディー、かつ日系品質の製品の供給を可能とし、
サービスの向上による事業の拡大を目指します。

名称：KS Circuit Mexico S.A de C.V

設立：2019年6月製造販売開始

事業：プリント配線板の販売及び実装搬送治具の製造販売



■片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	220,000m ²
インドネシア工場	150,000m ²
合計	450,000m²

■両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国生産提携工場(両面・多層)	120,000m ²
中国工場(銀メッキホール)	40,000m ²
ベトナム工場	(予定) 40,000m ²
合計	230,000m²

片面プリント配線板世界最大の生産量
 月産、東京ドーム建築面積約10個分
 年間115個分の面積に相当

東京ドーム
 面積
 46,755m²



Kyosha ECOMAP

(ECOMAP = ECOLOGY MANAGEMENT
PRINTED WIRING BOARD)

Dust Less = **Kyosha-MAX**[®] **防塵対策基板**

破断面からの粉落ち削減、粉レス基板

Heat Less = **Kyosha-Nacora**[®] **熱伝導放熱基板**

独自開発の熱伝導インクと回路設計で高熱伝導を実現

Space Less = **Kyosha-Fine Technology**

ファイン回路片面基板 ファイン回路を印刷法で実現
(ライン/スペース = 100/100ミクロン)

長尺基板 = **Kyosha-Long Size**

世界最大サイズ基板 長さ1200ミメートルを印刷法で実現

実装搬送用治具 = **MagiCarrier**[®] **次世代搬送キャリア**

プリント配線板や微小電子部品の搬送用キャリア



京写の新製品(開発中含む)について

印刷技術の京写が繰り出す “もう一つの付加価値”

■ ノンシリコンタイプ粘着キャリア (MagiCarrier-X)

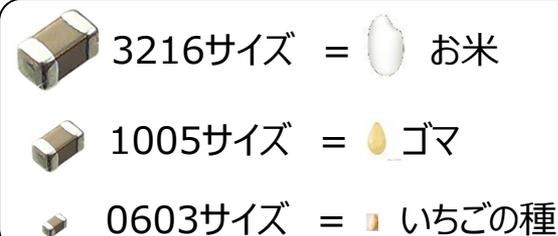
世界発！スクリーン印刷法による治具製造技術をベースに、
ノンシリコンタイプでも高温工程で繰り返し使用可能



■ 0603実装部品対応基板

印刷法で0603サイズの小型電子部品に
対応した基板製造技術を開発

電子部品の急速な
小型化に対応



■ 銅インクフィルム基板(プリンタブル基板)

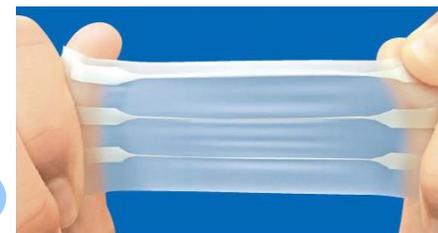
スクリーン印刷で銅ペーストでフィルムに直接回路を形成
低コスト、環境にやさしい(廃液が発生しない)

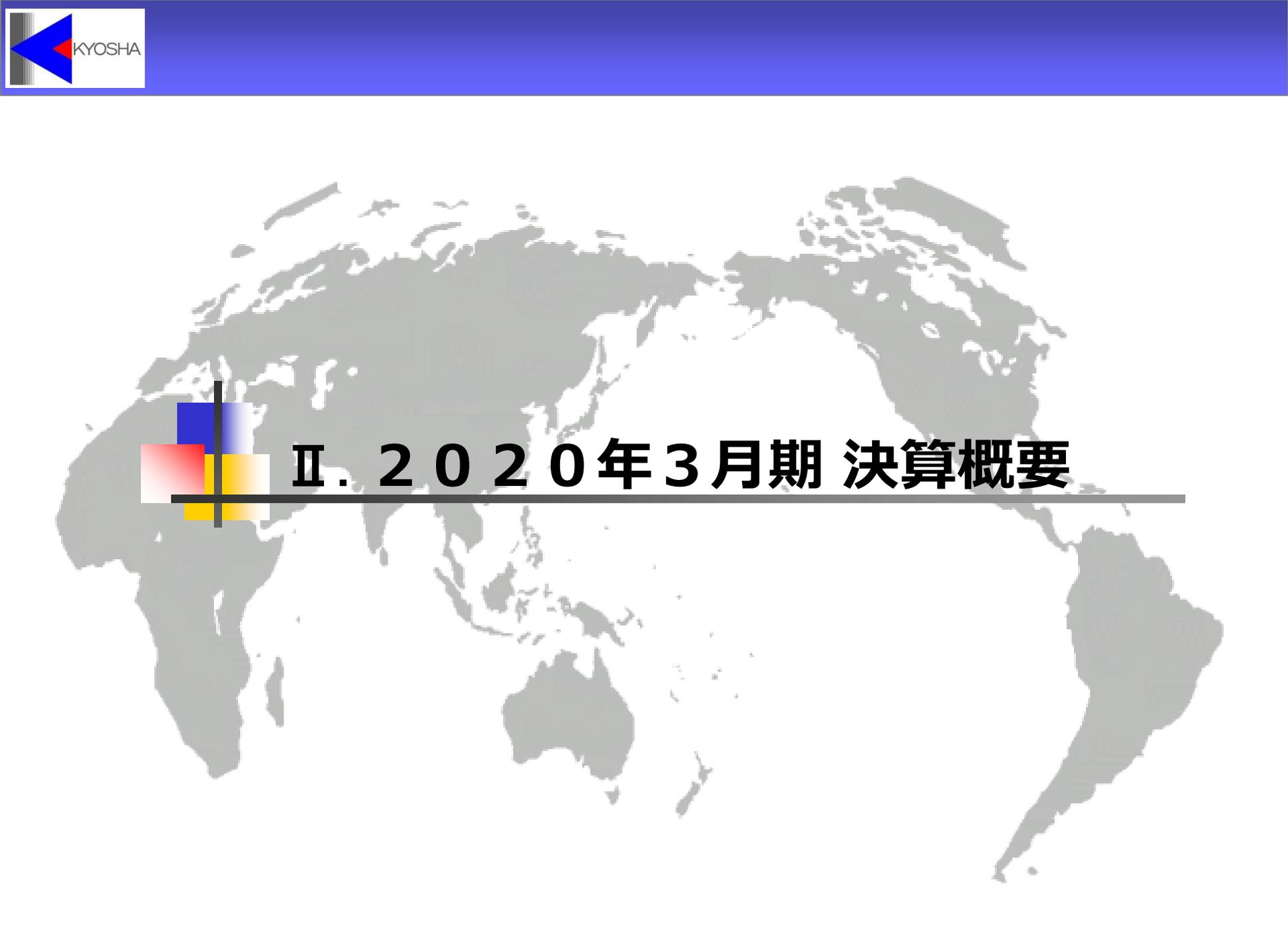
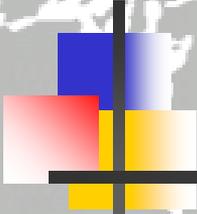
素材が薄くスマート
フォンやデジタル
カメラ等で利用期待

■ ストレッチャブル基板(プリンタブル基板)

伸縮性のある材料にスクリーン印刷で直接回路を形成
低コスト、自由なデザインが可能

ウェアラブル製品
等で利用可能



A faint, light gray world map is visible in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical line and a horizontal line intersecting at the center. The vertical line is black, and the horizontal line is black. The intersection is filled with a square divided into four quadrants: top-left is blue, top-right is red, bottom-left is yellow, and bottom-right is white.

Ⅱ. 2020年3月期 決算概要

2020年3月期 決算業績サマリー



■ 米中貿易摩擦の影響により大幅減収減益

(単位：百万円)

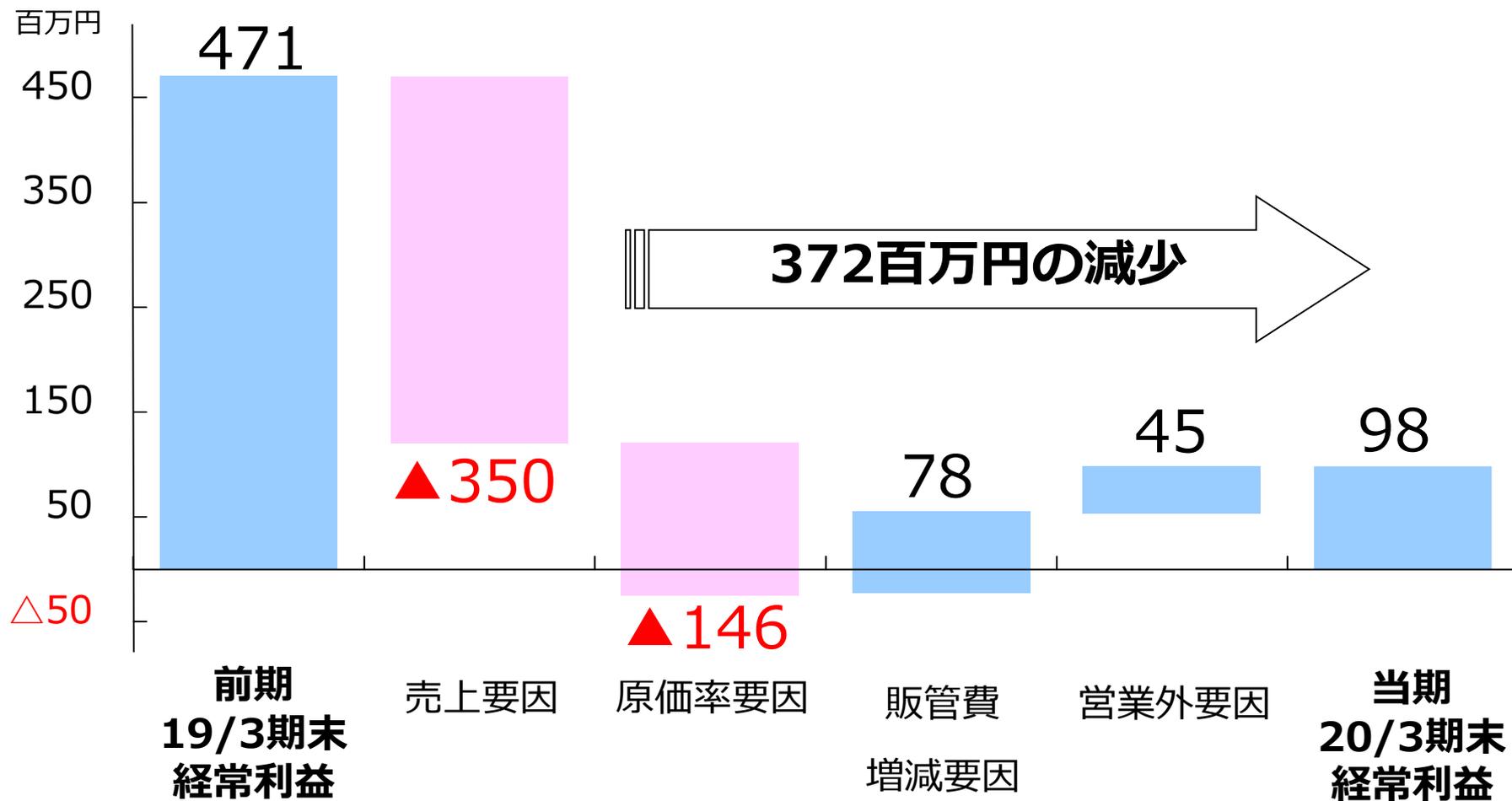
連結	前期実績 (2019年3月期)	当期実績 (2020年3月期)	増減額	前期比
売上高	21,035	19,022	△2,012	90.4%
営業利益	498	79	△419	16.0%
経常利益	471	98	△372	20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	293	1	△292	0.4%
営業利益率	2.4%	0.4%		

(単位：円)

為替レート(US\$)	110.91	108.74	△2.17	98.0%
(HK\$)	14.09	13.92	△0.17	98.8%

経常利益の増減前期比較

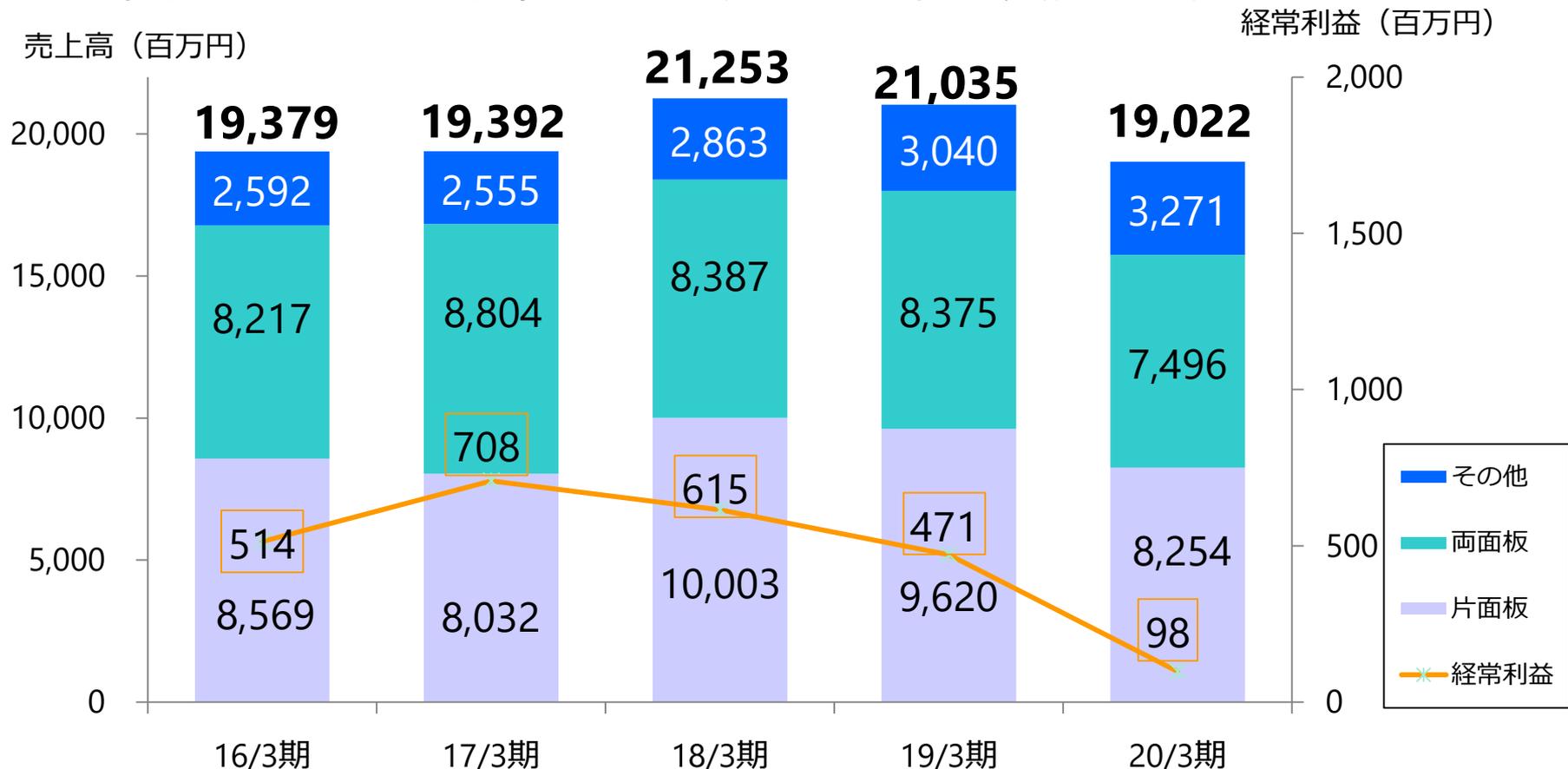
■ 海外の受注低迷、国内増産対応による外注費増加等により減益



業績推移



■ 基板売上は国内、海外ともに減少、その他は実装が好調



為替レート

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
US\$	120.14	108.38	110.85	110.91	108.74
HK\$	15.61	14.02	14.40	14.09	13.92

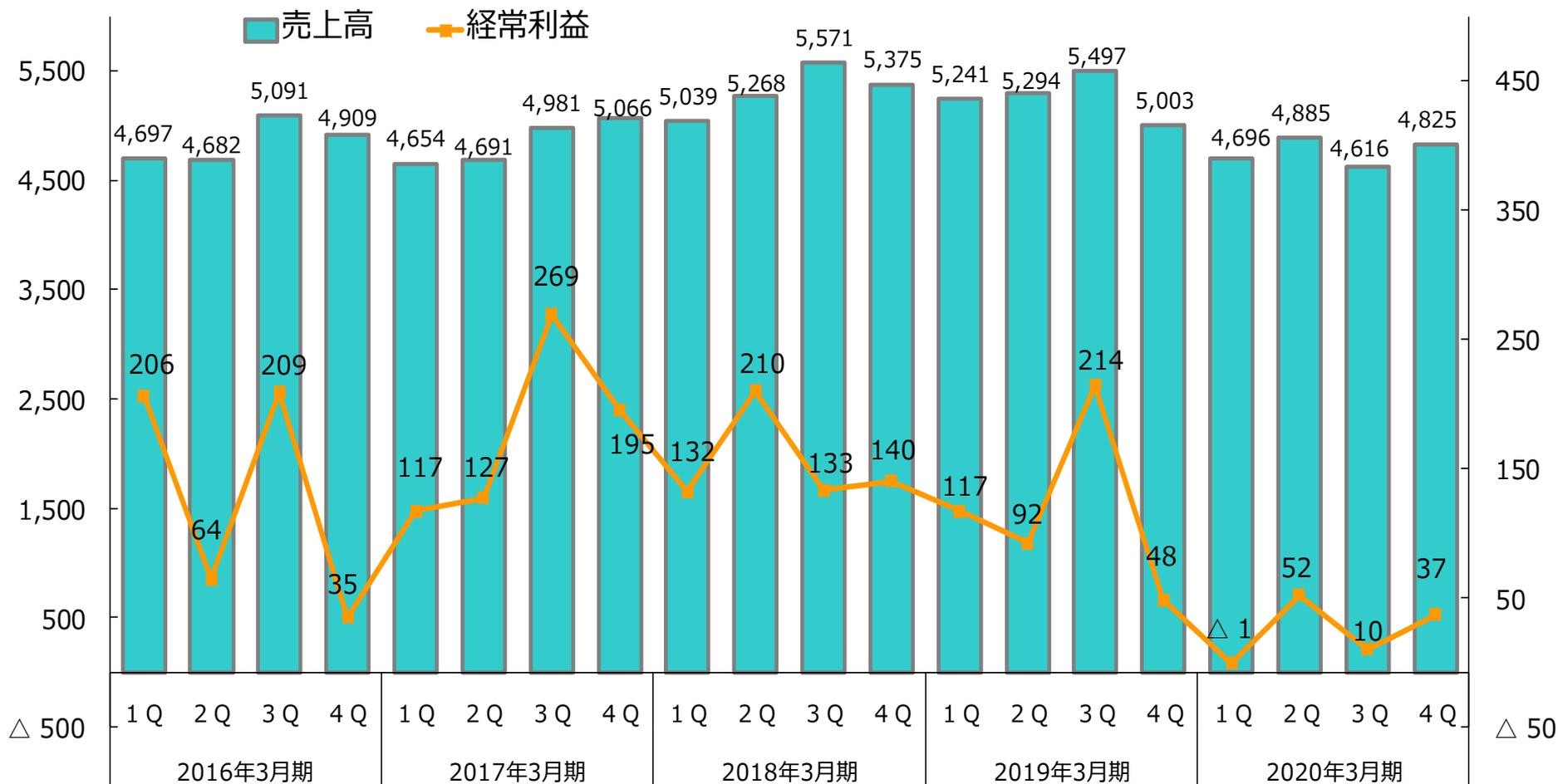
※両面板には、多層板と銀ルホール基板を含んでいます。

四半期毎の業績推移

■ 4Qは当期3Q比海外で増収増益

売上高 (百万円)

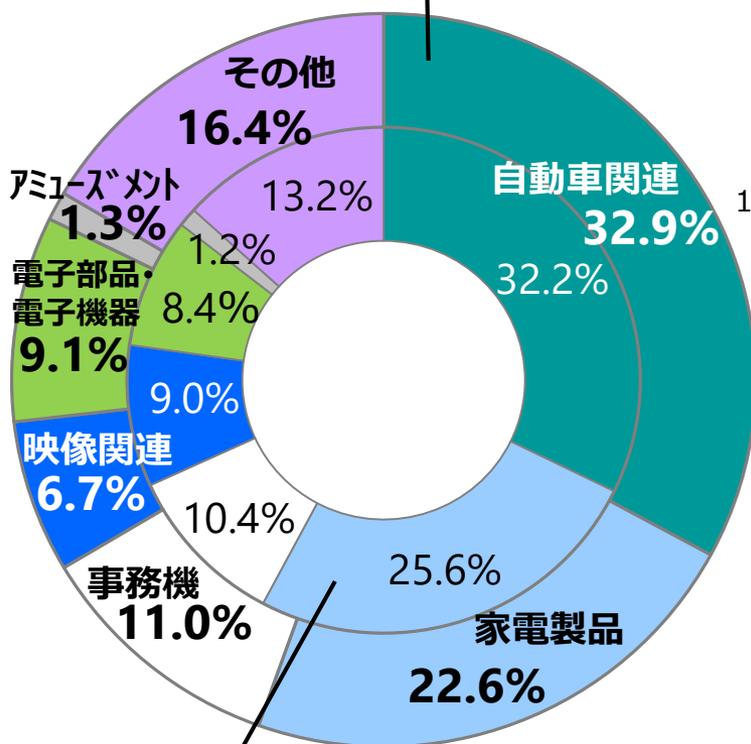
経常利益 (百万円)



用途別売上高

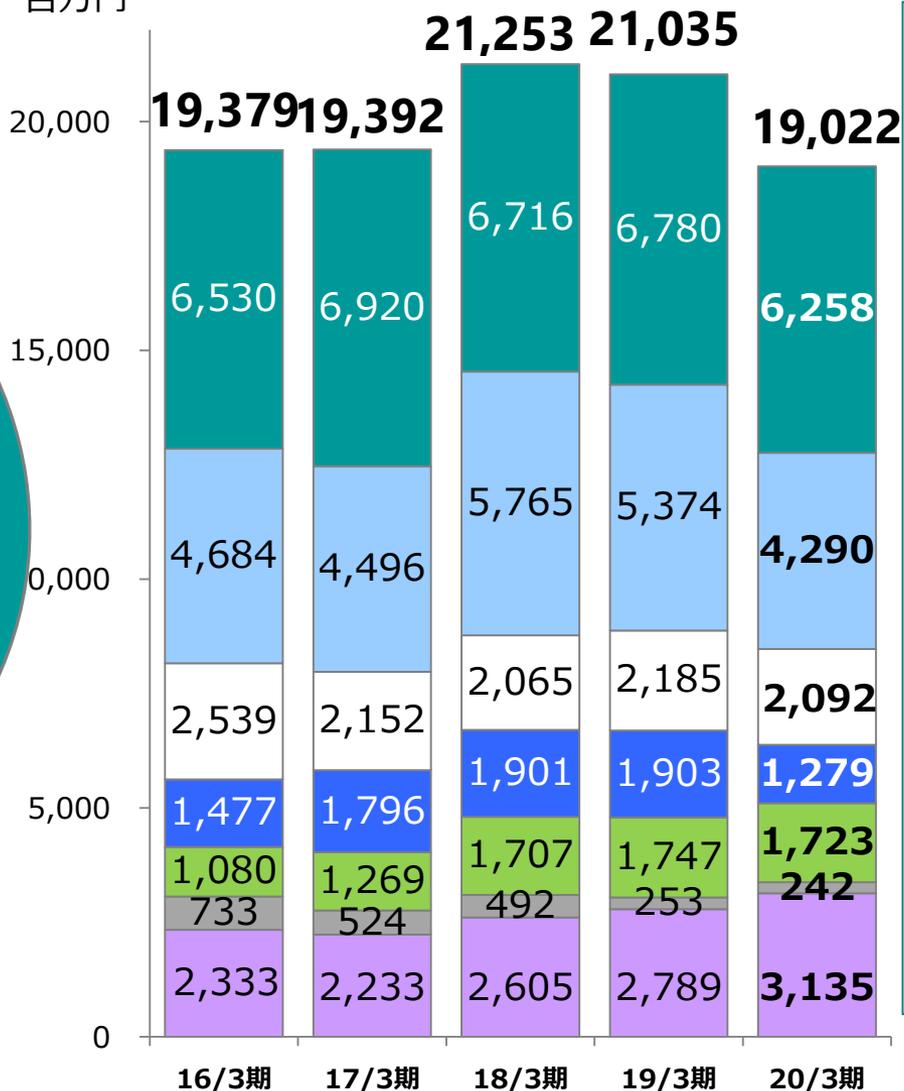
■ 国内、海外ともに家電製品受注減少

外：20年3月期（当期）



内：19年3月期（前期）

百万円

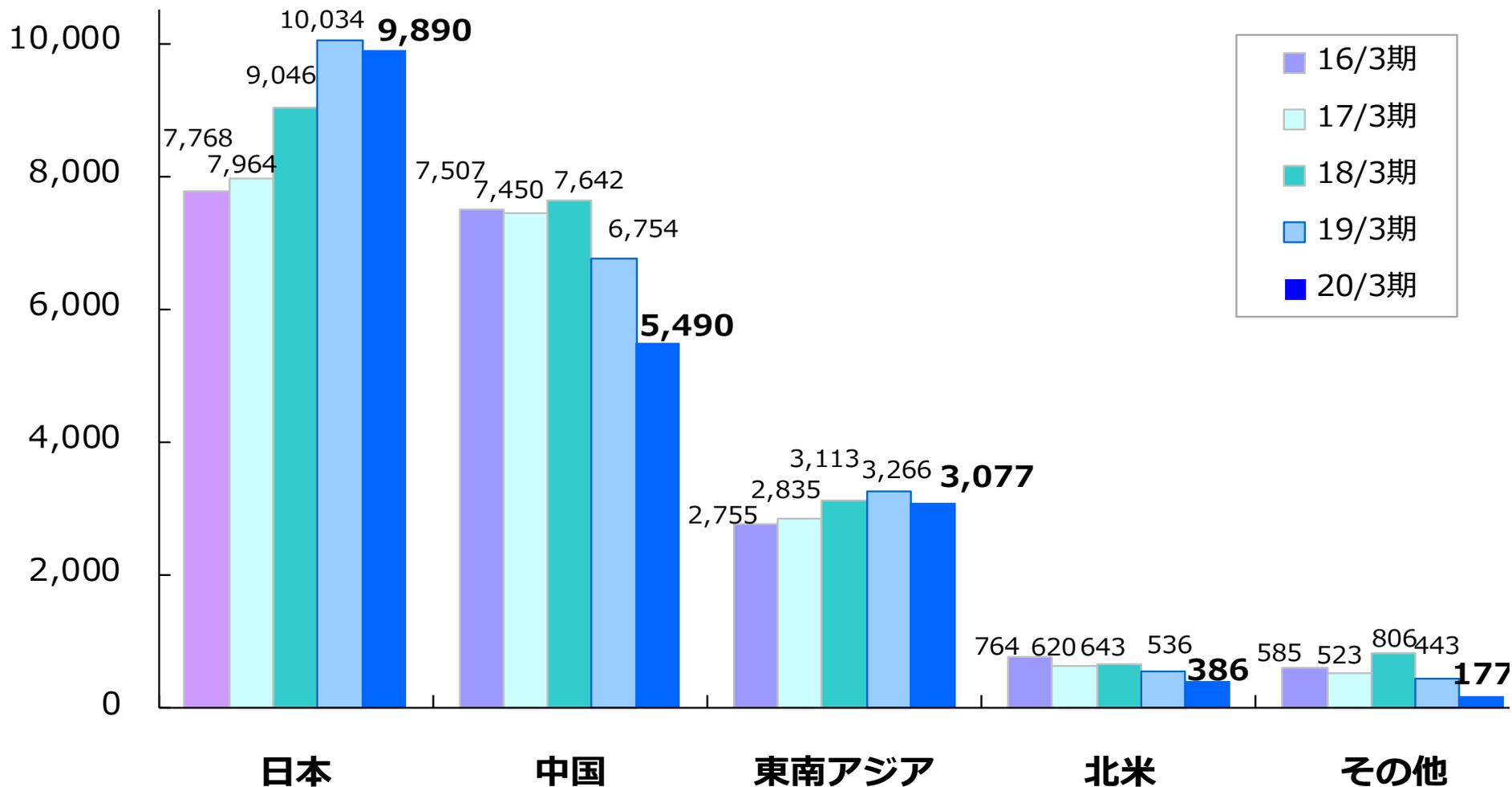


- 自動車関連
ライト,電装品
カーオーディオ
- 家電製品
LED照明,照明機器
エアコン,炊飯ジャー
冷蔵庫等
- 事務機
複写機
プリンター
- 映像関連
薄型テレビ
DVD, TVチューナー
- 電子部品・電子機器
電源,モーター,スマート
グリッド,制御装置等
- アミューズメント
家庭用ゲーム機
パチンコ・パチスロ
- その他
音響機器
通信機器など

地域別売上高推移

■ 中国をはじめ全地域で売上減少

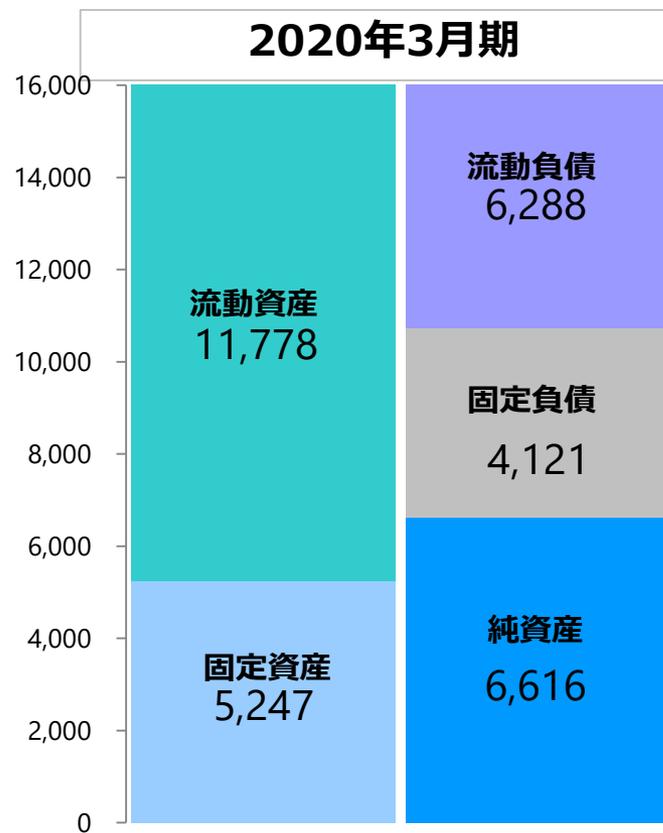
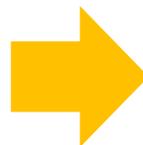
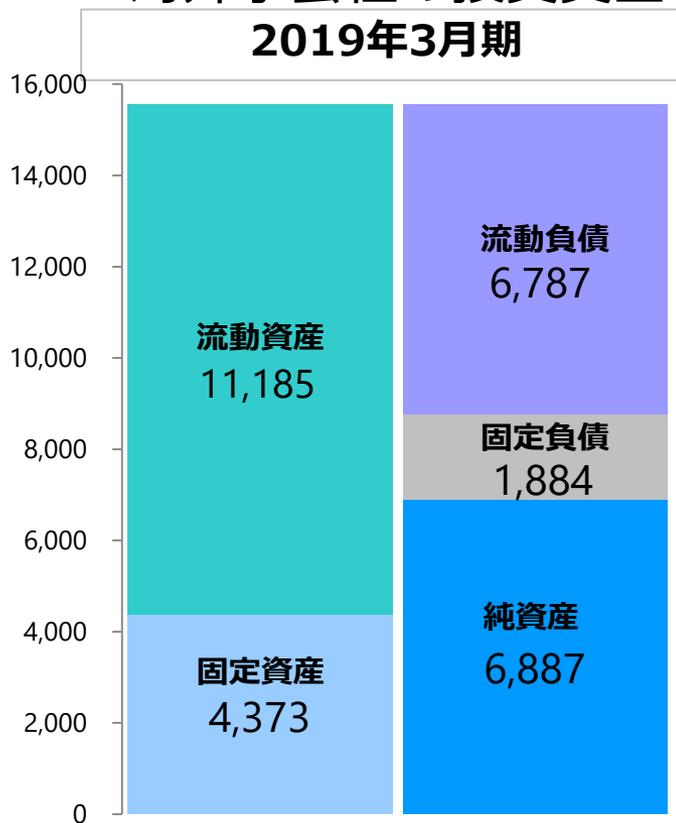
百万円



貸借対照表

■ 海外子会社の投資資金確保

(単位：百万円)



総資産 15,558

総資産 17,025

経営指標	2019年3月期
流動比率	164.8%
有利子負債依存度	25.3%
自己資本比率	43.4%

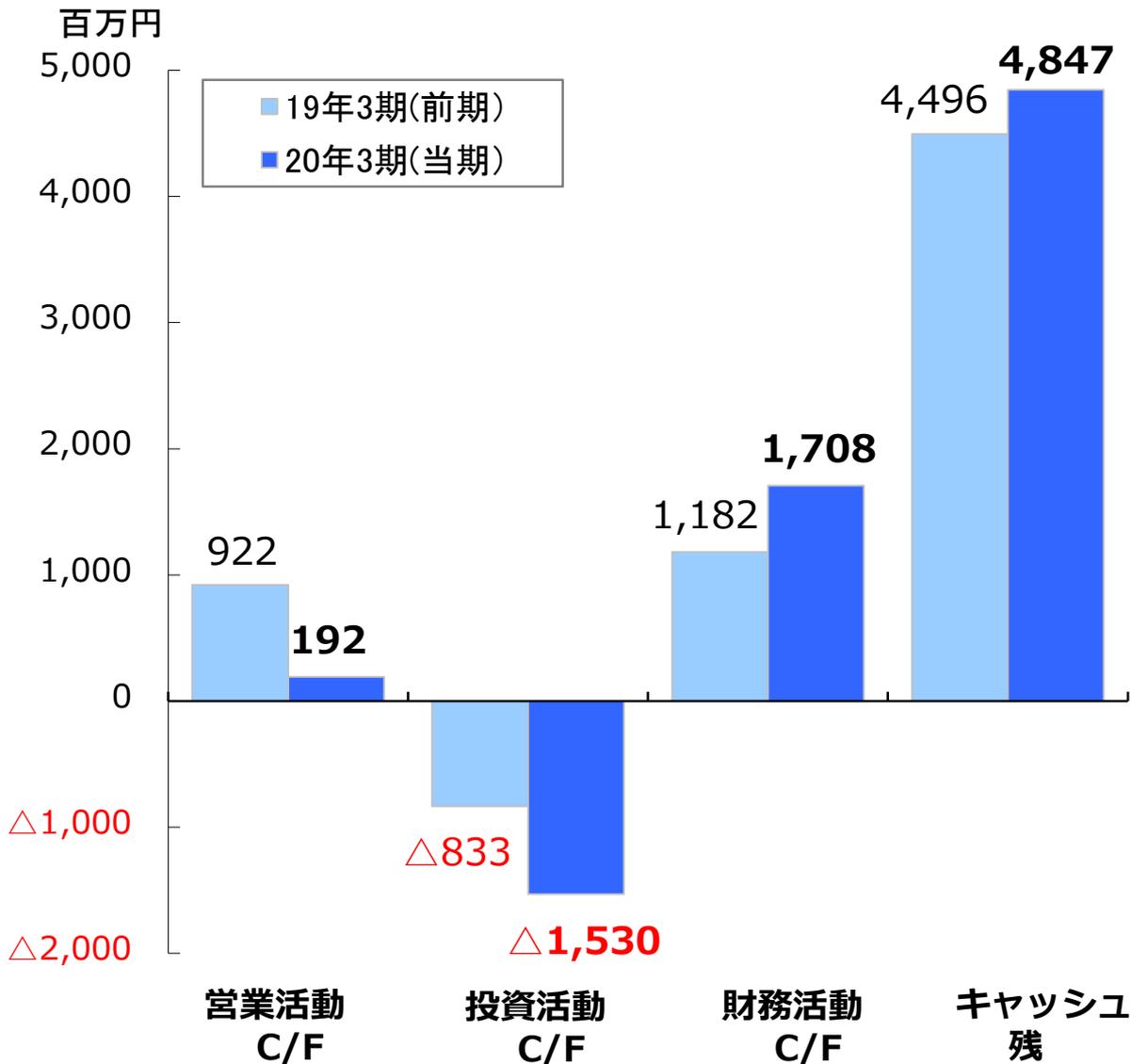
2019年3月期
為替レート
1US\$=110.99円
1HK\$= 14.18円

経営指標	2020年3月期
流動比率	187.3%
有利子負債依存度	34.1%
自己資本比率	38.1%

2020年3月期
為替レート
1US\$=108.83円
1HK\$= 14.07円

キャッシュ・フロー計算書

■ 投資活動C/Fはベトナム子会社の土地・建物取得、国内子会社の新工場建設等



<特記事項>

営業活動C/F 192百万円

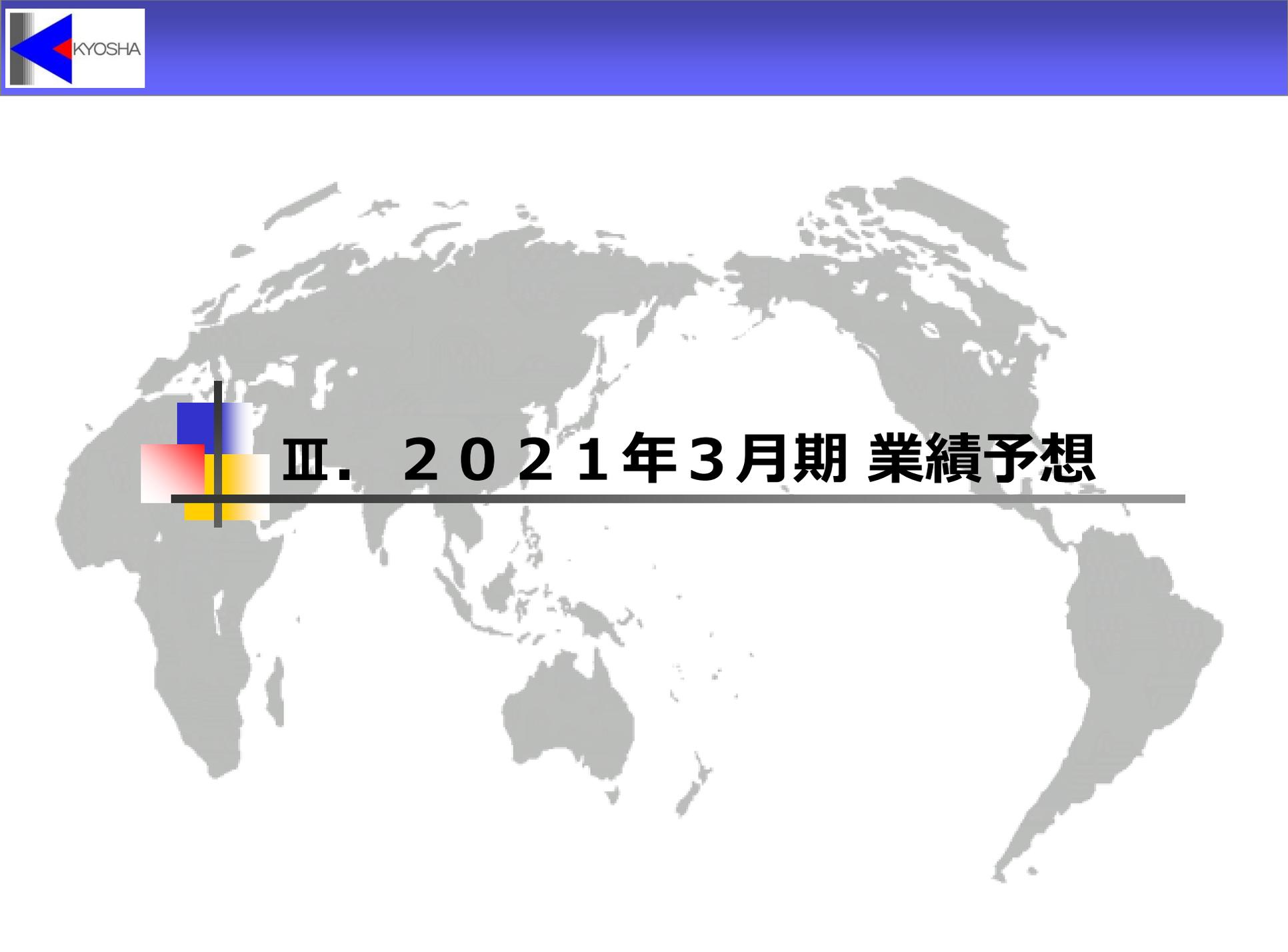
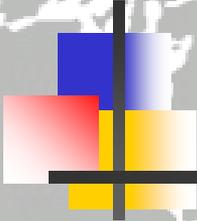
税引前利益	140百万円
減価償却費	649百万円
売上債権の増加	△94百万円
たな卸資産の減少	150百万円
仕入債務の減少	△262百万円
法人税等の支払	△119百万円

投資活動C/F △1,530百万円

固定資産等の取得	△1,627百万円
自動化設備（電気導通検査自動設備、自動プレス機）	
国内、海外子会社の新工場	
京写ベトナム土地前払リース料	

財務活動C/F 1,708百万円

短期借入金純増額	△318百万円
長期借入金純増額	2,163百万円
配当金の支払額	△113百万円

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the center. The vertical line has a blue square above and a yellow square below. The horizontal line has a red square on the left and a yellow square on the right.

Ⅲ. 2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想の公表延期



新型コロナウイルス感染症の世界各国での拡大により、当社を取り巻く環境は大きく変化しており、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想を算定することが困難なため、2021年3月期の通期業績予想を未定とさせていただきます。

今後、当社グループ各社の状況確認が進み合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表致します。

この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も十分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。